

対象者には案内が届きます

帯状疱疹ワクチンの定期接種が始まります

帯状疱疹ワクチンが定期接種の対象となり、接種費用が助成されます。
対象者に、6月下旬に案内を発送します。

【接種期間（2025年度）】2025年7月1日(火)～2026年3月31日(火)

【対象者】横浜市に住民登録があり、次のいずれかに該当する人

- ①2026年4月1日時点で 65、70、75、80、85、90、95、100歳の人
- ②100歳以上の人（2025年度のみ）
- ③接種日時点で 60歳から64歳の人で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に1級相当の障害がある人

【対象ワクチン・自己負担額】
いずれかを選択してください。

市から接種費用の
半額程度を助成します。

	接種回数	助成後の自己負担額※
生ワクチン	1回	4,000円
組換えワクチン	2回	合計20,000円

※市民税非課税世帯の人などは、自己負担免除となります。

【実施医療機関・接種予約方法】

接種の実施医療機関、接種予約方法等詳細については案内及び
ウェブページでお知らせします。



【問合せ】横浜市予防接種コールセンター（月～金曜9時～17時〈土日祝・休日を除く〉） ☎045-330-8561 📠045-664-7296

対象者には案内が届きます

65歳からの健康づくり ハマプロで元気な毎日を

「ハマプロ」はフレイル[※]対策として横浜市が実施する介護予防プログラムです。
ヨコハマの医療や健康のプロが、健康づくりをサポートします。

案内が届いた人は、ぜひご参加ください。

※加齢による心身機能の低下などの影響で、介護が必要になる可能性が高まった状態

こんな人が
対象です

以下の両方に該当する人に「ハマプロご招待券」や「参加確認票」が届きます。

- 対象区にお住まいの65歳から84歳の人
- 健診やフレイルチェックで体力の低下や栄養状態が心配される人

【対象区（2025年度）】旭区、泉区、磯子区、港南区、栄区、瀬谷区、鶴見区、中区、西区、南区



どんなことをするの？

利用料は
無料

●スポーツクラブ等での参加

約2か月間のグループプログラム、
医療専門職等による運動・栄養・お口
等の健康講座を実施。

●個別相談・家庭訪問など

健康状態や生活習慣に応じた個
別相談を実施。

【問合せ】居住区の高齢・障害支援課 または 健康福祉局医療援助課 ☎045-671-2409 📠045-664-0403

急増する風水害に要注意 安全を守る行動を確認しましょう

近年、気候変動の影響で、河川などからあふれてしまうような突発的な豪雨などが増え、全国各地で被害が多発しています。いざという時に備え、自分や家族を守る行動を確認しましょう。

浸水ハザードマップを確認しましょう

自宅や職場周辺の河川の氾濫などの危険性を確認しましょう。浸水ハザードマップでは、洪水・内水・高潮の危険性が確認できます。



避難行動計画を作成しましょう

避難方法、避難時の持ち出し品を事前に確認し、自分自身の避難行動計画（マイ・タイムライン）を作成しましょう。



川の様子は絶対見に行かないで！

大雨による増水の様子はウェブで確認！



詳しくはこちら

大雨に備えた河川づくり

横浜市では、近年の突発的な豪雨などに備えた河川づくりを進めています。また、日ごろから航空写真やAI技術を活用した、洪水の原因となる土砂堆積の把握や除去など、安全な河川の維持管理に役立てています。



▲土砂堆積を除去している様子

【問合せ】浸水ハザードマップ、マイ・タイムラインについて 総務局地域防災課 ☎045-671-3456 📠045-641-1677
横浜市水防災情報、河川づくりについて 下水道河川局河川流域管理課 ☎045-671-2857 📠045-664-5873